

YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

# International College of Liberal Arts

国際リベラルアーツ学部

College Guide



## iCLAに関するお問い合わせ

〒400-8575 山梨県甲府市酒折2-4-5  
山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部  
Phone 055-224-1350 Fax 055-224-1991  
E-mail [iclajp@ygu.ac.jp](mailto:iclajp@ygu.ac.jp)

[www.icla.jp](http://www.icla.jp)



## iCLA 公式 SNS アカウントはこちら

-  [iCLA \(International College of Liberal Arts\)](#)
-  [icla.ygu](#)
-  [icla\\_ygu](#)
-  [iclajapan](#)



**iCLA**  
International College of Liberal Arts



60+

海外協定校



90分

東京まで



1:5

学生：教員比率



57%

留学生



40+

国籍



88%

外国籍・日本国外で  
学位を取得した教員



## 目次

Table of Contents

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 学長・学部長からのメッセージ  | P2     |
| リベラルアーツ         | P3     |
| 言語学習センター        | P4     |
| アカデミック英語プログラム   | P5-6   |
| グローバルビジネス & 経済学 | P7     |
| 政治学             | P8     |
| 人文教養            | P9     |
| 日本研究            | P10    |
| 交換留学            | P11-12 |

|            |        |
|------------|--------|
| 就職キャリア支援   | P13    |
| 将来の夢へのサポート | P13-14 |
| その他の分野     | P15    |
| 体験型授業      | P15    |
| キャンパスライフ   | P16    |
| 寮生活        | P17    |
| アクセス情報     | P18    |
| iCLA 情報    | P18    |

## 古屋 光司 KOJI FURUYA

山梨学院大学 学長

本学部 iCLA は 2015 年の開設と、まだ歴史が浅いにも関わらず、数カ月時点で海外での評価がとても高く、初年度から海外留学生を受け入れることができました。そして、現在も iCLA を選ぶ留学生はどんどん増え続けています。このこと自体、我々が思い描いてきた iCLA という学部の価値が、世界で認められているのだと実感し、そのことが日本人学生への刺激に繋がるものと考えています。また、入学した学生たちの声を拾うと、みな口を揃えて「楽しい」「来てよかった」と言います。さらに、教員の質が高く授業が面白い、という意見も見逃せません。少人数制の授業は、与えられたものを吸収するだけではなく、インタラクティブな学生たちが作っていくものもあります。リベラルアーツという、iCLA の目指す理念に、日を追うごとに自信を深めています。国際寮とキャンパスが一体になった大学設置はとても珍しく、学生は起床から就寝まで外国人教員や留学生に囲まれての生活を送ります。日本に居ながら留学しているかのような時間を通して、学生は日々成長しています。是非、iCLA の施設を見に来てください。



## サンジェイ・ジンガン SANJAY JHINGAN

iCLA（国際リベラルアーツ学部）学部長（インド、ニューデリー出身）

専門分野：相対論的重力崩壊、重力波、天体物理学 & 宇宙論  
主な担当科目：リベラルアーツの為の数学、地球科学

山梨学院大学国際リベラルアーツの教職員を代表し、本学部への入学を考えている生徒の皆さんを心より歓迎いたします。iCLA は多岐にわたる要素を持ち合わせたユニークな学部です。iCLA の母体である山梨学院大学からはスポーツ等を通してリーダーシップ、団結力および寛容さを取り入れ、iCLA 内ではリベラルアーツ教育に特徴づけられる批判的思考力、コミュニケーション力、および創造的な問題解決力を培うことができます。また異文化が共存することにより生まれる相乗効果を見出し、一体性をもった教育を提供することが学部の教育目標の一つです。iCLA は多種多様な生い立ちを持つ学生が集う場であり、そのことを誇りとしています。この多様性は、異なる考え方や反対意見などに触れることにより、学生の成長や新しい文化への適応を促し、自身の物事に対する視点に磨きをかけ、自身の信念をよりよく理解することにつながります。リベラルアーツ教育を提供する学部として、iCLA は学際的なカリキュラムを持ち幅広い教育に尽力しています。従来の経済学および政治学は、それぞれビジネスおよび社会学の科目を組み込むことによって学生が選択するメジャーとしてより充実したものになっています。また芸術、音楽、文学、芸能の科目は日本研究および人文教養のメジャーの中含まれ、各科目を同等に学ぶことができます。つまり「自身のメジャーをデザインする」という考えに基づき、学生は様々な学術分野から幅広い科目を履修することができるのです。これは、従来の狭い範囲の偏った高等教育とは対極にあり、人文科学の特徴を引き出しています。





# リベラルアーツ

Liberal Arts

国際リベラルアーツ学部（iCLA）におけるリベラルアーツ教育は、政治学、ビジネス・経済学、文学等の幅広い分野において授業を開講しています。この充実した教育課程は、職場や社会において順応に対応できるスキルを持つ均整の取れた学生を養成することを目的として設計されています。

iCLA におけるリベラルアーツ教育を選ぶメリット

- ◎基礎力をつける「基幹教育」と学生が選択した分野において深く探求する科目の両方が提供されています
- ◎幅広い分野を横断的に学ぶことで多角的な視点を育みます
- ◎学生と教員の距離が近い少人数授業は、学術的な卓越性と学生の成長を促します
- ◎アクティブ・ラーニングの場で、他者の視点に触れ自身の視点を客観的に振り返る習慣を促進します
- ◎授業参加、アカデミック・ライティング、批判的思考力の養成に加え、コミュニケーション力やチームワーク等に焦点を置き、就職や進学等の将来に向けた準備に力を入れています

# カリキュラム

Curriculum

入学時の英語習熟度に合わせて、まずは「アカデミック英語」を履修する場合があります。ここでは少人数制の手厚いサポートのもと、リベラルアーツ科目を英語で受講できるだけの英語力を修得します。その後、リベラルアーツプログラムへ進みます。リベラルアーツプログラムは「グローバルビジネス・経済学」「政治学」「人文教養」「日本研究」の4つのメジャーで構成されています。選択した分野において専門的な探求を行いつつ、日本人学生は1年間の海外留学（必須）に参加します。

Critical  
教えられた物事を鵜呑みにしないで、自らの頭で批判的に考え判断する

Creative  
常に他人のまねごとではなく、独創的に物事を考え実行する

Independent  
独立した責任ある個人として、自らが自らの判断で考え行動する

Global  
狭い地域や一国の枠組みに囚われず、常に地球市民としての視点を持ち、多国籍の環境でも縦横無尽に活躍する



# 言語学習センター

Language Acquisition Center

言語学習センター（LAC）は、リーディングセンターとランゲージ・メディアセンターの2種類の区域で構成され、学習者の言語運用能力を高めるために、最適な環境と教材を提供しています。リーディングセンターには、速読の力をつける為のリーダーズシリーズ、小説、漫画、日本研究、DVD などがあります。またランゲージ・メディアセンターには20台のMacコンピューター、スピーキング練習の為の個室、学生用の英語学習教材があり、設備機器が充実しています。



## 浅川 魁

Kai Asakawa 出身：山梨

Student Interview

高校時代は英語に注力する課程で3年間学んでいたもので、英語については元来他の科目よりも得意でした。しかし、iCLAに入学後、英語でのコミュニケーション力が随分伸びたと実感しています。寮の同じユニットに自分以外一人も日本人がいなかったのも、最初は突然外国にきた感覚もありました。最初は先生の話している英語を聞き取るのも大変でしたがiCLAでは日常生活で英語を話す環境が整っていますし、今では困ることはなくなりました。LACは学校の図書館のように自分で自主的に勉強するのに活用しています。参考書もたくさん揃っており自習に大変役に立っています。将来は英語を生かした仕事に就きたいと思っており、iCLAに来て大正解でした。

## 福留 美樹子

Mikiko Fukutome

iCLA 言語学習センター  
言語学習アドバイザー  
LAC 専属の言語学習アドバイザーは、EAE（アカデミック英語）教員と情報共有しながら、学習者が「学び方を学ぶ」ように、自律性を高める支援をします。つまり、EAEの学生の為に、一人ひとりのニーズを把握し、学習だけでなく、人間として成長していくための気づきを促すアドバイスとフィードバックをします。学習者が計画、実行、振り返りの一連の流れから、自身の学習と自分自身に責任を負える自律学習者になれるように支援をします。



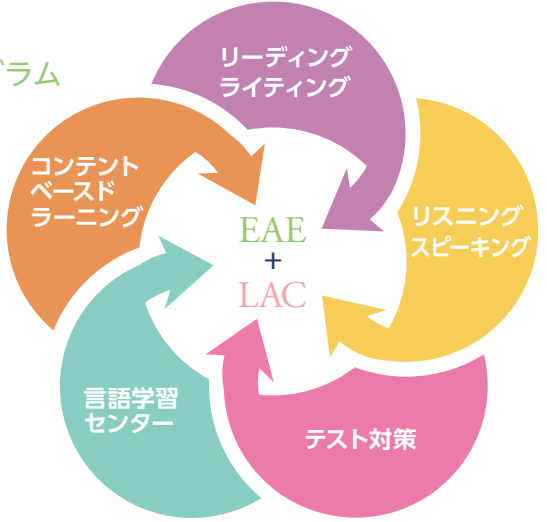
# アカデミック英語プログラム

English for Academic Excellence

iCLA の目標の一つである英語による高度なコミュニケーション能力を習得し、自律学習能力を身に着けるための基礎となるのが EAE です。

iCLA に入学後すぐに始まるのが「EAE」と呼ばれている「アカデミック英語」プログラムです。共通のテキストブックを使いながら、習熟度別のクラスに分かれて授業が行われます。担当教員は、外国籍のネイティブスピーカーから日本人の先生まで多彩な顔触れです。英語で行われる「リベラルアーツ」プログラムを目指して、まずは「読む」「聞く」「書く」「話す」という4つの技能をバランスよく伸ばし、TOEFL や IELTS の得点も上がるように設計されたプログラムです。2019 年度から、日本語で行われる「リベラルアーツ入門」が開講され、EAE で使用されるテキストに出てくるテーマを題材にして、リベラルアーツ教育で求められる思考力を磨くトレーニングを開始します。

EAE  
プログラム  
構成



## 齊藤 優菜

Student Interview

Yuna Saito 出身：長野  
小6から英語の塾に通っており、以来ずっと英語に興味を持っていましたが、日本の学校教育では十分に英語を勉強する機会が少なく、英語がそれ以外を学ぶか、という選択肢で迷っていました。iCLA のオープンキャンパスとキャンプの両方に参加して、iCLA に入学すれば英語に加えて他の分野も学べると考え決めました。私はスピーキングの力が極端に低かったのですが、iCLA 入学後、EAE でディスカッションの授業を受けていくうちに、スピーキング力も伸びてきたのを実感しています。LAC では自分が苦手な分野が何かを気づくことができ、その部分を集中的に勉強でき、良い環境だと思えます。分からないことは、アドバイザーの先生にすぐに聞きに行けるのも助かります。まだ完全に英語を習得していない EAE 生にとっては、日本語でのアドバイスも受けられるのも心強いです。

# iCLAへ、留学という新たな選択

## 在籍する学生の国籍は 43 カ国



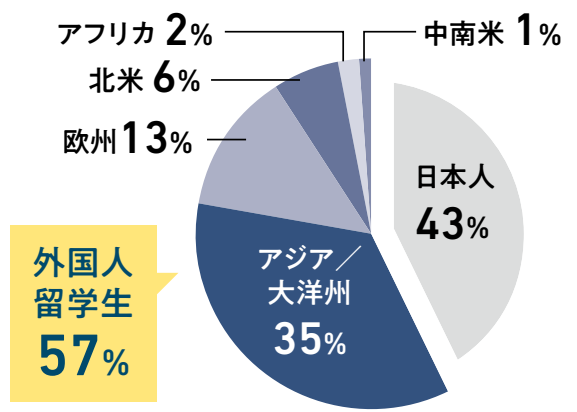
## 當眞 正裕 Masahiro Toma

副学部長／言語学習習得プログラム・ディレクター(日本)



グローバル化が加速するなか、自分の国のカルチャーもしっかりと持って発言することが、深い相互理解に繋がると考えます。iCLA で学び、日英両言語で多文化を繋げられる人が増えることを願っています。バイリンガルかつマルチカルチャーを目指しましょう！

## iCLA 学生の国籍および日本人と外国人留学生の在籍比率 (2019 年度)

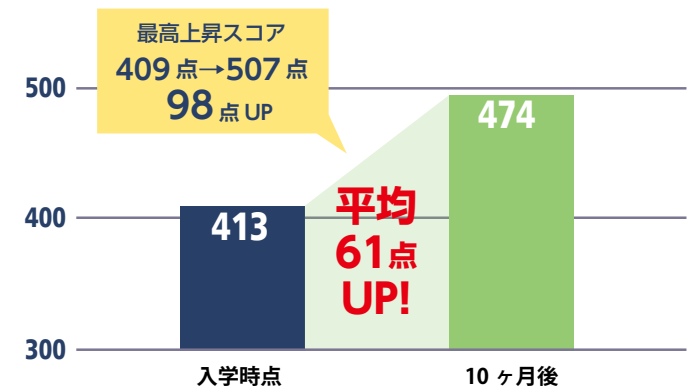


## TOEFL ITP 平均スコア推移

入学後、約半年で大幅なスコアアップ！  
1 年次より集中的に英語力を強化します

■ 入学時の平均スコア  
■ 10 ヶ月間で獲得した最高スコアの平均  
1 年次 1 月末までの 10 ヶ月間に獲得したスコアが対象

\* TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP はエデュケーションアル テスティングサービス(ETS)の登録商標です



PETER CHANG  
ピーター・チャン  
英語教育／准教授 (アメリカ)



KANUPRIYA DUA  
カナプリア・デュア  
英語教育／講師 (インド)



SUMIE KAWAKAMI  
川上 澄江  
英語教育／講師 (日本)



DAVID KNUDSEN  
デイビッド・ナドゥセン  
英語教育／講師 (オーストラリア)



DAVID O'DONNELL  
デイビッド・オドネル  
英語教育／准教授 (アメリカ)



# グローバルビジネス & 経済学

Global Business & Economics

経済学とビジネス分野の授業科目を学ぶことができます。

経済学の基本科目だけではなく、グローバルな視点や歴史的な視点からも経済を学ぶ授業科目を用意しています。

また、「起業・ベンチャー論」のような実際のビジネスとの関係を意識した挑戦的な授業も履修することができます。

グローバルビジネス・経済学は、社会科学的方法をとる経済学と、応用的なアプローチをとるビジネス学を融合的に学ぶ学問です。経済学はより理論的ですが、ビジネスの現実と関連付けながら学びます。一方、ビジネス学はより実践的ですが、理論的な概念を使いながらビジネスや金融の現場で実際に起こりうる課題に取り組めます。そして、iCLA ではビジネスや経済学をドル、ユーロ、円といったものさしで教えるのではなく、社会的、人間的な側面から教えます。例えば、授業では、富がどのように創造されるのか、なぜ社会全体で収入格差が生まれるのかについての考え方が何百年にもわたってどのように進化してきたのか、といったテーマを取り上げます。さらに、どの科目もグローバルな視点から学ぶため、将来どんなキャリアを選ぶかに関わらず、現代のグローバル社会で活躍するために必要な知識と経験が身に付きます。



**MICHAEL LACKTORIN**  
マイケル・ラクトリン  
経済学／教授（アメリカ）



**JOSEPH LIAN**  
ジョセフ・リアン  
経済学／教授（香港）



**HITOSHI SUGA**  
須賀 等  
副学部長  
経済学／教授（日本）



**JIMMY TENG**  
ジミー・テン  
経済学／准教授（シンガポール）

# 政治学

Political Science

現在の世界が直面している課題を分析して解決策を考える力を身に着けるために、多彩な授業科目が開講されています。

「行政学入門」や「社会政策」のように国内で生じる問題を対象とした授業から、グローバルな視点からアジアや日本の立ち位置を考え直すための授業科目も用意されています。

政治学は人類社会の根本的な問題に取り組めます。iCLA では、経済成長と安定を目指す政府の政策、貧富の差、NGO が社会的・政治的变化に与える影響、国家間の関係、民主主義制度の危機、世界平和など全てが研究課題になります。学生は、これらの問題に多角的に取り組みながら、常に変化する世界の政治情勢を批判的に思考し、分析的に論じることを学びます。このような iCLA の政治学の授業は、将来、国際関係や外交、行政、非政府組織、コミュニティ形成、学術研究、ビジネスなどの分野で進学あるいは就職し、世界で活躍できる人材を育成します。



**KOJI HARAGUCHI**  
原口 幸司  
政治学／講師（日本）



**ROSARIO LARATTA**  
ロザリオ・ララッタ  
政治学／教授（イタリア）



**TAKASHI TSUKAMOTO**  
塚本 崇  
リベラルアーツ・ディレクター  
政治学／准教授（日本）



# 人文教養

## Interdisciplinary Arts

文学・芸術・芸能など幅広い授業科目が展開されており、自分自身の興味に応じて学際的な学修が可能となるように設計されています。

各分野の横断的な授業履修が可能だけでなく、英語で日本文化について学ぶことができる授業科目も多数開講されています。

人文教養（インターディシプリナリー・アート）は、視覚芸術、パフォーマンス、文学・言語学、音響芸術、音楽など、クリエイティブな実践科目を幅広く扱います。学生は理論、実践、歴史的観点からこれらの科目を探究することにより、幅広く教養を学びながら自分の選んだ専門分野の理解を深めます。例えば、絵画や彫刻、インタラクティブ・アート、グラフィックデザイン、音楽技術、美術史、クリエイティブ・ライティングや詩を幅広く学びながら、日本美術史、琴、歌舞伎、浮世絵などの日本の芸術や美学を専門的に学ぶことができます。また授業だけではなく、パフォーマンスや作品展示を通して日頃の学習の成果を発表できる“Gala”などのイベントも毎学期開催しています。このような iCLA の幅広い科目や学習成果発表の機会は、今どの業種においても求められているクリエイティブな人材を育成します。



**MICHAEL BLOW**  
マイケル・ブロー  
音楽／教授（イギリス）



**VAHID RAFIEYAN**  
ヴァヒド・ラフィエヤン  
言語学／准教授（イラン）



**SAM STOCKER**  
サム・ストッカー  
美術／講師（イギリス）



**KAZUTAKA SUGIYAMA**  
杉山 和孝  
文学／講師（日本）

# 日本研究

## Japan Studies

iCLA で留学生と一緒に「日本」について学ぶことができます。

他の3つのメジャーでは、「日本」をテーマとした授業科目が多数開講されており、毎学期、交換留学生たちがこれらの授業に参加しています。

こうした留学生と一緒に、日本の政治・経済・歴史・文化を学ぶことができます。



iCLA の日本研究では、日本の文化・歴史・経済・政治など幅広い分野の科目をその道の専門家から学び、日本に対する理解をさらに深めることができます。例えば、柔道、空手、合気道、ナンバ術、修験道などの武術、漫画、アニメ、日本映画などの文化、さらにはトランジスタラジオ、ロボット、コンピューターゲームなどを取り上げる日本技術史も学ぶことができます。また、富士山、東京、横浜へのアクセスがよく日本の中央に位置する甲府で、学生生活を送り日本研究を体験的に学べることも、iCLA の魅力のひとつです。さらに、日本語を学びたい留学生や帰国生は、自分のレベルに合うクラスで総合的な日本語運用能力を磨くことができます。iCLA で日本研究を学ぶことで、新しい視野、見識、経験を得て、日本をより深く理解できるようになるだけでなく、今までと違った視点から日本や世界を見ることができるようになります。



**MARIKO OKABE**  
岡部 真理子  
日本語教育／准教授（日本）



**JUN IMAKI**  
今城 淳  
日本語教育／講師（日本）



**JUERGEN MELZER**  
ユルゲン・メルツァー  
歴史学／教授（ドイツ）



**DARREN ASHMORE**  
ダレン・アシュモア  
比較芸能／教授（イギリス）



**WILLIAM REED**  
ウィリアム・リード  
日本文化／教授（アメリカ）



# 交換留学

Study Abroad

iCLA の交換留学プログラムでは、グローバル化された社会で働いていく上で不可欠なリーダーシップスキル、多様性、異文化への適応力を身につけ、自分の専攻する分野について学びながら、真の国際感覚を養うことができます。現在30以上の国や地域で63校と協定を結んでおり、今後も提携先は各地域で増えてゆく見通しです。協定校への留学期間中は、基本的に派遣留学先の大学に学費を払う必要がありません。留学生を除くすべての日本人学生に1年間の交換留学が義務付けられています。

## 田中 花歩

Student Interview

Kaho Tanaka 出身：静岡

留学先：アバディーン大学（スコットランド）

私の交換留学先の大学が所在する、アバディーン市はスコットランドで治安の良い街として知られています。街中にはパブやナイトクラブが沢山あり、夜は人で賑わっていますが、昔は石油産業が盛んだった港町ということもあり、海が近く自然にも囲まれており、空気がとても美味しい所です。実は、私は留学初日、大学の寮へ向かう際に街中で迷ってしまいました。重たいスーツケースを引きながら、見知らぬ女性にバスの乗り方を聞くと「あなたが無事にたどり着かないと、心配で夜も眠れないわ」と、その方は私のためにタクシーを拾い、寮まで送ってくださいました。これが、私の留学の始まりでした。この様に、アバディーンには親切な人達が沢山いて、平和的な時間が流れる住みやすい所です。なので直ぐに、私はそこでの生活に慣れることが出来ました。また、大学生活では毎日新たなことを吸収し、充実し

た時間を過ごしました。例えば、部活動です。私は、ミュージカル部に所属し、歌、踊り、お芝居を英語で経験しました。公演も無事に成功し、掛け替えのない時間を素敵な友達と過ごすことが出来たことが大学生活一番の思い出でした。日本の大学とは違う経験が出来て、とても良かったです。大学生活以外では、ビールの醸造所見学、周辺のお城巡り、海での日の出の観賞、スコットランドで知り合ったお友達の実家へ旅行をする、などといった事をしました。中でも、イタリアのベネチアでのホームステイは普通は中々出来ないことなので貴重な経験となり、有意義な時間を過ごしました。魔法の世界に住んでいる様な美しい街並でした。また、iCLAで交換留学をしていた外国人の友達とヨーロッパで再会することが出来た事もとても嬉しかったです。知り合った当時よりも自分の語学力が確実に向上したため、以前より深い会話をする事が出来、とても充実した時間を過ごしました。この様に、私は沢山の新たな経験をし、吸収しました。今まで過ごしてきた学生生活の中で一番濃い時間を過ごしていたといっても過言ではありません。



## Global Partners

### 海外留学先一覧（2020年3月現在）順不同



●英国・イングランド  
●サセックス大学



●スコットランド  
●スターリング大学  
●アバディーン大学



●アイスランド  
●国立アイスランド芸術大学（音楽学部）



●フランス  
●リール政治学院  
●IESEG ビジネススクール



●フィンランド  
●タンペレ応用科学大学



●スウェーデン  
●レンド大学マルメ音楽アカデミー（MAM）



●ノルウェー  
●ベルゲン大学  
●ノルウェー科学技術大学  
●トロムソ大学  
●ヴォルダ大学



●デンマーク  
●オールボーグ大学  
●南デンマーク大学



●オランダ  
●ユニバーシティ・カレッジ・ユートレイト  
●アムステルダム高等専門学校経済経営学部



●ベルギー  
●ゲント大学



●オーストリア  
●FH ヨアンネウム



●アゼルバイジャン  
●ADA（アゼルバイジャン外交学）大学



●リトアニア  
●ヴィリニウス大学



●ドイツ  
●デュイスブルグ・エッセン大学  
●ハインリッヒ・ハイネ大学  
●ヤーコプス大学ブレーメン  
●ルートヴィヒスハーフェン経営社会大学、応用科学大学  
●ハンブルク応用科学大学



●クロアチア  
●リエカ大学



●ルーマニア  
●ルーマニア・アメリカ大学  
●ティミショアラ西大学



●スペイン  
●マラガ大学



●イタリア  
●アメリカン大学ローマ



●中国  
●北京師範大学・香港バプティスト大学・ユナイテッド・インターナショナル・カレッジ



●香港  
●嶺南大学



●台湾  
●国立暨南国際大学  
●国立台北大学



●韓国  
●慶熙大学校  
●カトリック大学校  
●明知大学校



●フィリピン  
●フィリピン大学  
●アテネオ・デ・マニラ大学



●インド  
●OP ジンダルグローバル大学



●ロシア  
●サントペテルブルク大学



●オーストラリア  
●カーティン工科大学  
●西シドニー大学



●マレーシア  
●テイラーズ大学



●インドネシア  
●ピナ・ヌサンタラ大学  
●ムハマディア大学ジョグジャカルタ校



●タイ  
●マヒドン大学・音楽大学  
●タンマサート大学・政治学部  
●モンクット王工科大学ラートクラバン校



●カナダ  
●聖フランシスコ・ザビエル大学  
●アカディア大学  
●ヨーク大学  
●クエスト大学



●アメリカ  
●オグスバーク大学  
●セント・スコラスティカ大学  
●ハムライン大学  
●フラグラーカレッジ  
●ウォレン・ウィルソン大学  
●南オレゴン大学  
●ニューヨーク州立大学ブロッポート校  
●ニューヨーク州立大学オスウィゴ校



●メキシコ  
●パンアメリカン大学



●ケニア  
●アメリカ国際大学アフリカ校

※掲載している旗は国旗の他、一部地方・地域の旗も含まれます。 ※本提携リストは、2020年3月現在の協定提携実績に基づくもので以降変更されることがあります。

# 就職キャリア支援

Career Support

## キャリアデザイン授業科目 (Career Design Courses)

キャリアデザイン1 (CD1)

自己理解を深め、それが将来の仕事やキャリアにどう生かせるのかを学ぶ。

キャリアデザイン2 (CD2)

就職活動に必要な日本社会の特徴を学ぶ。

キャリアデザイン3 (CD3)

就職する際に必要な具体的な準備をする。

## キャリア支援の4つの特徴

- 1. キャリアガイダンス：毎年 4 月と 9 月に学生と保護者向けのガイダンスを実施。
- 2. キャリアカウンセリング：就職活動担当アドバイザーとの個別相談（随時）。
- 3. インターンシップ：国内・海外の情報提供と仕事の紹介（1 ヶ月・3 ヶ月のインターンシップ）。
- 4. 就職支援講座：毎年 1 月・2 月に実践的な就職スキルアップを目指す講座を実施。

# キャリア形成支援に向けて

Career Development

源島 福己    Fukumi Genjima    教授・キャリア開発部長 (CD1,CD2,CD3 担当)

近年経済発展の中心は中国や ASEAN を中心とするアジア諸国やアフリカ諸国に移っており、日本は経済、経営、政治、外交といった様々な分野でこうした国々との協力・相互依存関係を強めています。また一方ではビジネスの国際競争圧力も強まっており、異なる言語を駆使し異文化理解の上に立って働くことのできる優秀な人材が一層求められるようになってきました。そのため外国人留学生採用に力を入れる日本企業も増えています。また日本政府は海外からの観光客の誘致も積極的に進めており、今後は増加する外国人観光客の受入対応に力を発揮できる日本人、外国人がますます必要となるでしょう。こうした社会全体のグローバル化に伴い、コミュニケーションのあり方、仕事の内容や進め方もグローバル化・複雑化

する傾向にあり、そのため学生に要求される言語運用能力や職務遂行能力のレベルはますます高度化しています。私たちは皆さんが iCLA で学び海外留学を終えて卒業するまでに、こうした現実を明確に認識し、変化に対応できる能力を身につけさせることを目標に、三段階でキャリアの授業を進める他、国内・国外におけるインターンシップ等を通して幅広い知識とスキルを身につけさせることにも注力しています。私たちキャリア支援関係の教職員は国内外の様々な地域や組織でも働いた豊富な経験を持っており、それを活かしながら全学の就職・キャリアセンターとも連携して学生の皆さんの職業観の形成や就職活動を支援しています。iCLA で私たちと一緒にになりたい自分、働きたい仕事を探してみませんか。



1978 ~ 2007 年

1987 ~ 1990 年

2005 年

2012 年

2018 年

三井住友銀行

海外経済協力基金 (OECF)

国際教養大学

長崎大学

山梨学院大学

国際リベラルアーツ学部

| 1 年 (Freshman) |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      | 2 年 (Sophomore) |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   | 3 年 (Junior) |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   | 4 年 (Senior) |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------|---|---|-----|---|---|-----|----|----|-----|---|---|------|-----------------|---|------|---|---|-----|----|----|-----|---|---|---------------|---|--------------|---------------|---|---|-----|----|----|-------|---|---|-------|---|---|--------------|---|---|-----|----|----|-----|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 4              | 5 | 6 | 7   | 8 | 9 | 10  | 11 | 12 | 1   | 2 | 3 | 4    | 5               | 6 | 7    | 8 | 9 | 10  | 11 | 12 | 1   | 2 | 3 | 4             | 5 | 6            | 7             | 8 | 9 | 10  | 11 | 12 | 1     | 2 | 3 | 4     | 5 | 6 | 7            | 8 | 9 | 10  | 11 | 12 | 1   | 2 | 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 春学期            |   |   | 夏休み |   |   | 秋学期 |    |    | 冬休み |   |   | 春学期  |                 |   | 夏休み  |   |   | 秋学期 |    |    | 冬休み |   |   | 春学期           |   |              | 夏休み           |   |   | 秋学期 |    |    | 冬休み   |   |   | 春学期   |   |   | 夏休み          |   |   | 秋学期 |    |    | 冬休み |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| EAE            |   |   | EAE |   |   |     |    |    |     |   |   | LA   |                 |   | LA   |   |   |     |    |    |     |   |   | LA            |   |              | LA            |   |   |     |    |    | LA    |   |   | LA    |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| CDI            |   |   | CDI |   |   |     |    |    |     |   |   | CDII |                 |   | CDII |   |   |     |    |    |     |   |   | CDII<br>CDIII |   |              | CDII<br>CDIII |   |   |     |    |    | CDIII |   |   | CDIII |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                |   |   |     |   |   |     |    |    |     |   |   |      |                 |   |      |   |   |     |    |    |     |   |   |               |   |              |               |   |   |     |    |    |       |   |   |       |   |   |              |   |   |     |    |    |     |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※ 上記は進路シミュレーションです。個々の学生進路スケジュールは変更の可能性があります。

齊木 俊也    Shunya Saiki    出身：東京

Student Interview

卒業生・グローバル IT サービス業

大学へ入学する前は、将来どのようなキャリアへ進みたいのかわかりませんでした。多様な分野を学習することができる iCLA のリベラルアーツ教育を通して、進みたいキャリアを発見できるのではないかと感じていました。一定の分野に縛られることのない自由な学び方によって、自分の性格と興味にはどのような学問の分野が合うのかということが分かりました。自分自身のことをより深く理解することができ、IT 業界へ進みたいというキャリアの目標を持つことができました。就職支援の先生においては、進路を決めるにあたりご指導 (ご助言) をいただき、日本の仕事文化についても教えていただきました。仕事の募集情報を共有してくださったり、相談したい時には常に時間を作ってください、結果として希望していた IT 業界から内定をいただくことができました。



王 大亮    Daisuke Oo    出身：山梨

Student Interview

卒業生・グローバル製造業



## 4 年間で自分の夢かなえる実力を身につけた

父親は中国人ですが、多国の留学生と学ぶ iCLA の環境で自分の思考は日本人だと自覚させられ、多様な価値観を許容する幅が身につきました。またアメリカ留学時のサッカークラブでは仲間意識の違いに驚きつつも共感しました。仲間を支え補い合う日本人に対し、アメリカ人は個人責任で、練習量より質を求めるのです。留学に必要な TOEFL を 1 年間で 380 点から 540 点に上げ、TOEIC865 点の英語力を自信に、夢だった海外展開・社会貢献する企業に入ることができました。今は人生のテーマである「スポーツマーケティング」の可能性に挑戦中です。



# その他の分野

Other Disciplines

iCLA では、英語で学ぶリベラルアーツカリキュラムにより、グローバルビジネス・経済学、政治学、日本研究、人文教養の4つの専門分野でしっかりとした学問の基礎を習得することができます。さらに、これら4つの専門分野に加えて、以下の分野の科目も学ぶことができます。

◎社会学    ◎心理学    ◎自然科学    ◎数的推理    ◎保健体育

これにより、学生は自分の専門分野以外の科目も柔軟に選択でき、リベラルアーツ教育の本質である幅広い教養を身に付けることができます。

# 体験型授業

Workshops

iCLAではワークショップを通じて想像力、独自性、知的好奇心を育むための様々な体験型授業も提供しています。



演技実習・演劇監督実習・Acting & Directing



グラフィックデザイン・Graphic Design



能実習・Noh Theater



華道・Japanese Flower Arrangement



茶道・Japanese Tea Ceremony

# キャンパスライフ

Campus Life

iCLAの学生たちは積極的にスポーツや音楽、そして芸術などの趣味を楽しんでいます。学生同士グループでスポーツも音楽などを楽しんでいます。また、山梨学院大学 (YGU) の部活やサークルに所属することも可能です。iCLA内だけでなく、他学部の学生とコラボレーションする機会もあるので、幅広い活動を体験できます。学生たちは勉強ばかりでなく、自由に、自分たちの時間を楽しんでいます。

## スチューデントラウンジ

授業の合い間や放課後などに学生達が集まるスペースです。映画を見たり、ゲームをしたり、本国の家族や友人とパソコンでテレビ電話をする学生もいます。自動販売機もあり、勉強のプレッシャーから解放されて一息つけるスペースです。



## 交流スペース

日本人学生と留学生の交流するスペースです。キャンパス内には学生同士がコミュニケーションをとれる場所がたくさんあります。リラックスした時間の中で、異文化で育った学生同士の会話に花が咲きます。



## カフェテリア

仲間や先生とのカフェタイムも楽しめます。広くて天井が高く、ガラスで仕切られたエリアは解放感満点です。クッキングスタジオが併設されていて、イベント時に料理を作ることもあります。月曜日から金曜日まで、「ブレイクファースト」「ランチ」「ディナー」と日替わりでそれぞれ2種類のメニューが用意されています。



## 多様なイベント

一年を通して様々な楽しいイベントが開催されています。学生同士の交流の機会や企画運営の経験も出来ます。



# 寮生活

Residence Halls

## 個室

モダンな部屋はとても使いやすく清潔で、快適なスペースです。寮の個室からは山梨ののどかな景色が見渡せ、部屋によっては富士山を見ることができます。落ち着いた環境の中で机に向かえば、勉強にも身が入ります。また、ベッド、机、椅子、エアコン、ランプなどの基本設備が完備されているため、必要最低限の荷物で寮生活をスタートすることができます。部屋を一步出れば一緒に暮らす学生たちが歓談できるリビングスペースがあり国籍、文化を超えた交流が生まれます。様々な国からやってきた留学生も一緒に生活しているので、多様な文化を日本で暮らしながら見聞きすることができ、まるで、日本に居ながら海外留学している気分になります。

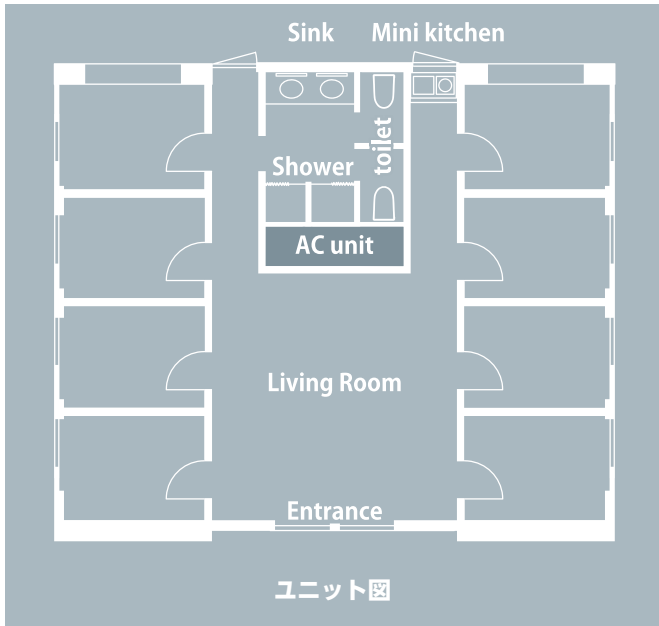


1年生は全寮制、2年生以上も多くの学生が世界各地から集まった友達と一緒に暮らす寮生活を選んでいます。



## プライバシー

寮は男女別棟で、セキュリティ付きのエレベータでアクセスします。各階には原則8つの個室から構成されるユニットが3つあり、ユニットごとにトイレ、シャワー、洗面台などが設備されています。プライバシーもしっかり保たれるので安心です。



## ランドリールーム

男子寮、女子寮それぞれの2階に、24時間利用することができるランドリールームがあり、たくさんの全自動洗濯機が設置されています。

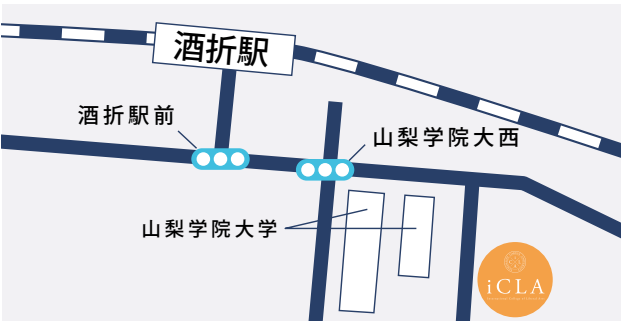


# アクセス情報

Access Information



## 電車利用の場合



JR 中央本線酒折駅 下車徒歩 3 分。  
JR 身延線善光寺駅 下車徒歩 12 分。

## バス利用の場合

新宿駅南口高速バスターミナル「バスタ新宿」から石和温泉経由甲府駅行バスに乗車、山梨学院大学前で下車。

## 自動車利用の場合

- 東京方面から、中央自動車道、一宮御坂インターを出て、国道 20 号線 (甲府バイパス) を甲府市街方面に向い、「向町二」三叉路を右折し「横根跨線橋南」交差点を左折する。
- 長野・名古屋方面からは中央自動車道、甲府昭和インターを出て、国道 20 号線 (甲府バイパス) を大月方面に向い「向町二」三叉路を左折し「横根跨線橋南」交差点を左折する。

# iCLA情報

iCLA Information

iCLAホームページ・  
ニュース・イベントはこちら

[www.icla.jp](http://www.icla.jp)



入学者選抜  
情報はこちら

[www.ygu.ac.jp/admission](http://www.ygu.ac.jp/admission)

